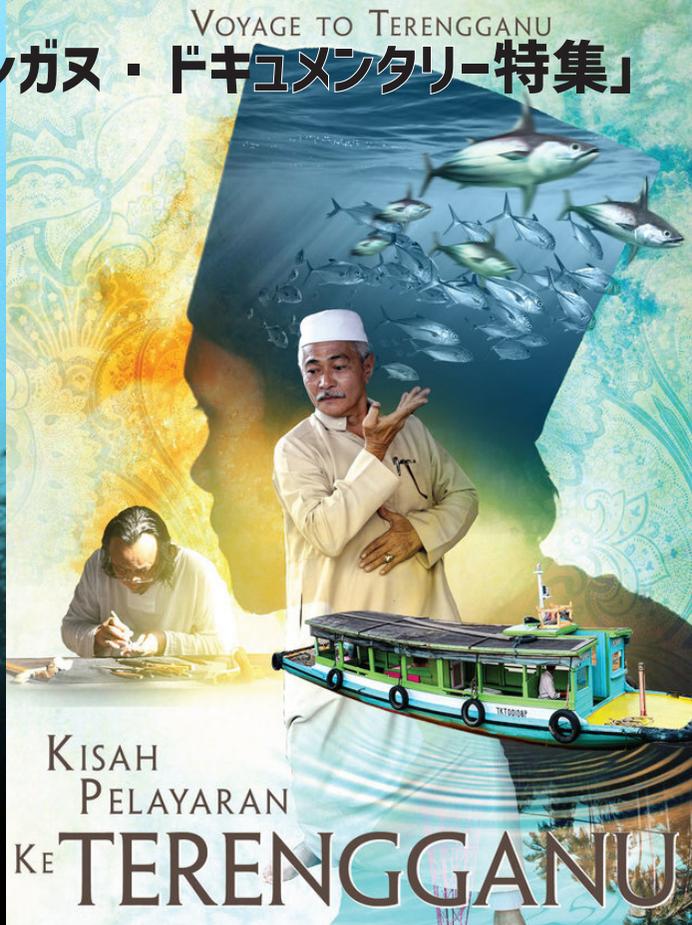




マレーシア映画「トレンガヌ・ドキュメンタリー特集」
2作品同時上映

VOYAGE TO TERENGGANU

FISH LISTENERS
of SETIU LAGOONS



KISAH
PELAYARAN
KE TERENGGANU

魚の声を聞く漁師
～トレンガヌ州スティウ～

トレンガヌ航海記

TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的としています。

今回のマレーシア映画「トレンガヌ・ドキュメンタリー特集」では、マレーシア半島部東海岸に位置するトレンガヌ州で撮影されたドキュメンタリー2作品を上映します。魚の声を聞きながら行われる漁など、ユニークで豊かな地域文化を知るきっかけになればと思います。



(c) Apparat 2010

上映日時 2024年

6月8日【土】

14:00上映開始 (開場13:40、終了予定17:30)

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分)

映画「トレンガヌ・ドキュメンタリー特集」2作品同時上映

- ①『魚の声を聞く漁師～トレンガヌ州スティウ～』
本編上映(47分)
- ②『トレンガヌ航海記』本編上映(62分)

上映後解説／トーク：河野 元子
(京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授)

司会：左右田 直規 (東京外国語大学
大学院総合国際学研究院・教授)

企画：戸加里 康子 (東京外国語大学・非常勤講師)

主催 東京外国語大学 TUFS Cinema

協力 APPARAT
Da Huang Pictures
中田直美
東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録制 ▶▶▶
(先着500名)



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240608form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をしていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。
定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441
(平日9:00-17:00)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2024年6月8日(土) 14:00上映開始(13:40開場、17:30終了予定)

マレーシア映画「トレンガヌ・ドキュメンタリー特集」 2作品同時上映

魚の声を聞く漁師 ～トレンガヌ州スティウ～

監督・脚本・ナレーション デイン・サイド
プロデューサー・脚本 ナンディタ・ソロモン
編集 ニック・ジョハン
撮影 タヤニティ・ラマヌジェム、エフェンディー・マズラン
製作 APPARAT

2010年/マレーシア/47分/英語・マレー語/日本語・英語字幕
原題 Fish Listeners of Setiu Lagoons

あらすじ

トレンガヌ州北部にあるスティウ・ラグーンには、魚の声を聞くことができる漁師がいる。海の中に入り、魚の声を耳を澄ませることで、どこにどの種類の魚がどれぐらいいるのか知ることができるという。パ・ハルンはその技術を持った最後の漁師の一人。パ・ハルンと息子ポロの漁の様子を追う。



(c) Apparat 2010



Photo provided by: Da Huang Pictures

トレンガヌ航海記

エグゼクティブ・プロデューサー タン・チュイムイ、アミール・ムハマド
プロデューサー フー・フェイリン
監督 アミール・ムハマド、バドゥルル・ヒシャム・イスマイル
撮影 サイフディン・ムサ、イディン・シャー
編集 ラザイシャム・ラシッド
VFX エミール・エズワン、モハマド・スフィエナス
音楽 ズルヘザン
録音 イルワン・シャー
音響 モフシン・オスマン

2016年/マレーシア/62分/マレー語/日本語・英語字幕
原題 Kisah Pelayaran ke Terengganu

あらすじ

これまでマレーシアに関するさまざまなドキュメンタリーを撮影してきたアミール・ムハマド監督は、2015年12月、初めてトレンガヌ州を訪れた。そこで監督は、市場でタウナギを売る人、短剣クリスを作る人、オートバイの修理工場を営む人、芸能に携わる人など、さまざまな人に出会う。

本作について

マレーシアの半島部東海岸に南北に細長くのびるトレンガヌ州。南シナ海に面した長い海岸線を持ち、漁業に携わる住民も多い。その中には魚の声を聞くことができる漁師がいるという。『魚の声を聞く漁師～トレンガヌ州スティウ～』は、そうした漁師の1人パ・ハルンを追いかけたドキュメンタリー。監督・脚本・ナレーションのデイン・サイドは、やはり半島東海岸を舞台にした作品『プノハン(2011)』でマレーシア映画祭最優秀作品賞、監督賞などを受賞した映像美が魅力の監督である。

一方『トレンガヌ航海記』のアミール・ムハマド監督は、(最近はプロデューサーとしてクレジットされることの方が多くなったが)2000年代に、マレーシアではちょっとタブー視されるような内容に切り込んだドキュメンタリーを何作も監督し、話題を集めた。首都クアラルンプールでの銃乱射事件を扱った『ビッグ・ドリアン(2003)』は山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映されている。シリアスなテーマを扱いながら、語り口は軽妙洒脱なところが魅力の1つである。(戸加里康子)

上映後解説

河野 元子

(京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授)

問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課 (TUFSCINEMA担当)
TEL 042-330-5441 (平日9:00～17:00)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制(先着500名)

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240608form/>



会場 東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
交通アクセス (東京都府中市朝日町3-11-1)



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多摩」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多摩駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車